

一般社団法人日本人間工学会第 80 回理事会 議事録

1. 開催日: 2026 年 3 月 9 日(月) 18:00~19:49

2. 開催場所: オンライン Zoom 開催

3. 出席理事: <敬称略>

・理事会構成員(27 名・定足数 14 名以上)

(理事): 鳥居塚崇(理事長), 中西美和(副理事長・第 68 回大会), 井出有紀子(企業活動), 加藤麻樹(学術), 河合隆史(総務), 下村義弘(広報), 申紅仙(総務), 能登裕子(学術), 松崎一平(普及), 松田文子(広報), 村木里志(編集), 持丸正明(国際・戦略), 横井元治(財務), 横山詔常(企業活動), 吉村健志(財務), 和田一成(普及)

[16 名]

(理事兼支部長): 小林大二(北海道), 高橋信(東北), 横山清子(東海・第 67 回大会), 有馬正和(関西), 石原恵子(中国・四国), 小崎智照(九州・沖縄)

[6 名]

[計: 22 名]

(欠席者): 石橋圭太(若手支援), 國澤尚子(表彰), 齋藤誠二(若手支援), 松田礼(関東), 八木佳子(国際)

・監事: 赤松幹之

・欠席監事: 白井伸之介

・オブザーバー: 榎原毅(認定機構・国際誌・第 66 回大会), 小谷賢太郎(第 10 期選挙管理), 佐藤洋(JENC・標準化推進)

・欠席オブザーバー: 吉武良治(表彰)

・事務局: 西原彩, 米倉裕美

※全員オンライン会議出席者

4. 議事概要

定足数 14 名を超える 22 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進行した。

【審議事項】

(1) 第 1 号議案 次世代ジュニア会員(仮)の名称について(普及委員会)

松崎普及委員長より、前回理事会で承認した次世代ジュニア会員(仮)の名称案について会員アンケートを実施した結果の報告があった。投票数の一番多かった「ユース会員」に決定したい旨説明があり、意義なく承認された。今後は本制度の準備委員会を新設し、内容について検討を行う。

(2) 2026 年定時社員総会における表彰受賞者について(表彰委員会)

・人間工学グッドプラクティス賞

横井表彰委員より、人間工学グッドプラクティス賞 最優秀賞 1 件と優秀賞 1 件の推薦があり、異議なく承認された。松田表彰委員より、2025 年は人間工学グッドプラクティスデータベースの登録件数は少な

かったが、投票総数は例年通りだった旨、報告があった。

(3) 第3号議案 優秀研究発表奨励賞選考規程の改定について(表彰委員会)

横井表彰委員より、優秀研究発表奨励賞選考規程 第3条(受賞資格)について、賛助会員資格で大会発表も可能になったことに合わせて、賛助会員も受賞資格者に加えたい旨提案があり、賛助会員の会社・団体に所属する個人であることを分かるように修正の上で改定することが承認された。

HPの賛助会員特典の内容が古い旨指摘があり、過去のデータが残らないようにファイルを削除することを確認した。

(4) 第3号議案 研究部会(感性情報処理・官能評価部会)の継続申請について(学術委員会)

加藤学術委員長より、今期で活動期間満了の感性情報処理・官能評価部会より継続申請書と活動報告書(論文投稿の実績含む)の提出があった旨説明があり、意義なく継続が承認された。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 申総務理事が、第79回理事会議事録について報告した。

(1-2) 会勢報告

2026年2月末現在、会員数1,216名(+14名)、賛助会員23社25口(+3社4口)。退会理由についても報告した。退職による退会者が多いので、何か対策を検討したほうがよいとの意見があった。

(1-3) メールによる審議等の結果1件について報告。

(1-4) 協賛等の依頼9件について報告。

(1-5) 会員管理システム検討の進捗状況

候補システムとして、(株)アトラス社の提供するSMOOSYがすでに利用しているEditorial Manager(編集)とConfit(大会)と会員情報の連携ができる利点があること等の説明があり、引き続き検討を行う。クレジットカードで会費の支払いができ、会員自身で領収書発行もできるなど多機能。利用料およびクレジットカードの手数料など費用が掛かるので、支出可能かは財務とも共同で検討を行う。

(2) 財務報告

(2-1) 横井財務理事より、2月度収支計算書について会費納入率は95%を超えており概ね例年通りであること等の報告があった。

(3) 第67回大会(2026年5月23~24日:名古屋市立大学)準備状況報告

横山第67回大会長より、演題登録の締め切りを3月21日まで延長することの説明があり、周りの方に演題登録を勧めてほしい旨、お願いがあった。IEA会長のAndrew Thatcherが基調講演を行う。ACEDの各国にも、国際協力委員等よりアナウンスを行う。

(4) 第68回大会(2027年5月29~30日:慶応義塾大学)準備状況報告

中西第68回大会長より、予定通りの日程にて年度明けの4月より準備を開始する旨、報告があった。

(5) 担当・委員会・支部報告

(5-1) 広報委員会

松田委員長より、3月6日に広報委員会を開催し、2025年にGP賞受賞の花王の方に企業での取り組みを委員会として伺ったこと、新しいパンフレットの作成を進めていることの報告があった。続いて下村副委員長より、今年度の課題の整理と次年度への引継ぎを行ったことの報告があった。

(5-2) 編集委員会

村木委員長より、学会誌2月号の発行、8月末で新規投稿の受付を終了している旧論文投稿・査読システムの運用を3月末に終了すること、査読委員を3月27日まで募集中の旨、報告があった。

(5-3) 国際協力委員会

持丸委員長より、標準化のセッションをACEDで組む予定であること、3月末にETS年次大会(台湾)に参加しESTと連携をする予定の旨、報告があった。

(5-4) ISO/TC159 国内対策委員会

佐藤委員長より、3月9日に委員会を開催したこと、日本提案で立ち上げたサービスエルゴノミクスのWGが活動を開始していること、ISOTC159 SC3の国際議長をしていた産総研の小林吉之氏が次期委員長となる旨、報告があった。

(5-5) 表彰委員会

今回はなし。

(5-6) 学術委員会

加藤委員長より、前回理事会で承認された研究部会規程の改定についての報告と、改定に伴って各研究部会へ連絡する「研究部会へのお願い」の訂正版について説明があった。研究部会が開催するイベントについて、部会だけで閉じるのではなく、学会本体が積極的に広報するなど関与し、あくまで学会の活動であるよう認知してもらうことが重要との意見があった。

(5-7) 人間工学専門家認定機構

榎原機構長より、2026年2月14日(土)に専門家認定試験を実施したこと、2025年度はプラクティショナーの応募が多数あったこと、幹事会にてデジタルバッチの活用や試験問題など制度の見直しを行っている等の報告があった。機構総会・講演会を4月24日(金)に開催する。

(5-8) 若手支援委員会

今回はなし。

(5-9) 企業活動推進委員会

横山委員長より、第67回大会企画で人間工学に基づいた製品やサービスの展示を行う「人間工学製品シンポジウム」の準備を行っている旨、報告があった。発表募集について協力のお願いがあった。企画について、魅力的な内容なので学会の大会に限らず、一般向けにぜひ開催してほしいとの意見があった。

(5-10) 国際誌検討委員会

今回はなし。

(5-11) 普及委員会

松崎委員長より、第67回大会で高校生向けの企画を、若手支援委員会、認定機構と協力して進めている旨、報告があった。

(5-12) 戦略・将来構想委員会

持丸委員長より、例年に続き第67回大会でも企画セッションを開催予定の旨、報告があった。

(5-13) PSE 委員会

鳥居塚委員長より、学会員および認定機構会員をどうやって増やしていくかという話し合いを定期的に行っている旨、報告があった。

(5-14) 利益相反・倫理委員会

鳥居塚副委員長より、学会のプロジェクトについて利益相反のチェックを進めている旨報告があった。

(5-15) 人間工学研究標準化推進委員会

佐藤委員長より、本委員会は次期では、TC159 に限らずスコープを広げて活動できればとの説明があった。

(5-16) 第10期選挙管理委員会

小谷委員長より、3月3日に開票を行い役員選挙が完了し、当選者への通知を行った旨、報告があった。

(5-17) 役員候補者推薦委員会

鳥居塚委員長より、役員選挙に先立ち委員会を開催し役員候補者について議論を行い候補者の推薦を行った旨、報告があった。

(6) プロジェクト報告

・AMED ・厚労省科研

榎原担当より、研究委託事業が公募を出す際に、要件の中に人間工学の文言を入れてもらえるように働きかけを行っていることと、公募が開始した際は広報協力をお願いしたい旨、説明があった。

・人間工学事典発刊

榎原担当より、3月末までに編集幹事より執筆者に依頼するスケジュールで進めている旨、報告があった。

・ABW

2025年度の委託事業について報告資料の提出があった。鳥居塚理事長より、気づいた点などの連絡が理事会メンバーよりあれば、兵頭委員長に確認する旨、説明があった。

(7) 支部報告

(7-1) 北海道支部

小林支部長より、支部大会を9月11日に公立千歳科学技術大学で開催する旨、報告があった。

(7-2) 東北支部

高橋支部長より、東北支部研究会を12月20日に山形で開催したこと、3月28日に仙台にて現地とオンラインのハイブリットで開催予定の旨、報告があった。

(7-3) 関東支部

鳥居塚理事長および吉村理事より、12月14日関東支部大会と3月7日見学会について報告があった。今後学会誌に見学会の報告記事を掲載予定。

(7-4) 東海支部

横山支部長より、3月10日に役員会を開催すること、例年通り10~11月の土曜日に支部研究大会を開催する予定の旨報告があった。

(7-5) 関西支部

有馬支部長より、2月26日に関西デジタルヒューマン懇話会を開催、4月7日に第2回見学会をイ

トーキ(滋賀県)で開催予定、5月16日に通常総会を開催し、総会に合わせて高校の先生を対象にしたイベントを計画している旨、報告があった。

2026年支部大会日程は未定で、関西大学吹田キャンパスで開催予定。イベント参加者の一般の方に入会をお勧めできる学会のパンフレットがほしいとのお願いがあった。

(7-6) 中国・四国支部

石原支部長より、支部大会で優秀発表賞を3名の学生に授与したこと、見学会を2026年2月に香川大学鈴木研究室と産総研四国センター、3月3日にダイヤ工業(岡山市)の2回開催したことの報告があった。3月27日に講演会・小シンポジウムをハイブリッドで開催する。

(7-7) 九州・沖縄支部

小崎支部長より、11月末頃に支部大会を開催予定の旨、報告があった。

(8) その他

(8-1) 2026年定時社員総会資料作成に向けて【ご協力お願い】

申総務理事より、必要な書類を期日までに提出するように協力依頼があった。

(8-2) 今後の理事会日程について

申総務理事より、次回第81回理事会は4月末~5月前半、第82回理事会は大会前日5月22日(金)に名古屋市立大学にて開催する旨、説明があった。

(9) 閉会

以上の議事を終え、19時49分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、代表理事、監事がこれに記名押印する。

2026年3月9日

代表理事

鳥居塚 崇 ⑩

監事

赤松 幹之 ⑩